



(伊)デロンギ社製

デロンギ 電気式コードレス エスプレッソ・モカ マシーン

ご使用の前に、必ずお読みください。

## 取 扱 説 明 書

### モカ デロンギ Mod.EMK6

この度は、モカ デロンギ「Mod.EMK6」をお求めいただきまして、誠にありがとうございました。

製品を正しく安全にご使用していただくため、ご使用前に、必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。また、お読みになった後も、保証書と共に大切に保管してください。



#### Mod.EMK6の特長

##### 手軽に使える電気式マキネッタ

イタリアで一般的に使われているマキネッタ、直火式エスプレッソメーカー（モカ式）を手軽にご利用できるように電気式にしました。

##### 電気式なのでテーブルの上で使える

直火式とは違いコンセントさえあればリビングテーブルの上でコーヒーが淹れられます。

##### 電気式ならではの自動オフ機能

電気を使っているので約30分で自動的に電源が切れる安全設計です。

##### 透明サーバーで出来上がりを確認


透明なサーバーなのでコーヒーの出来上がり状態を確認することができます。


#### 目 次

安全上の注意	1～2
各部の名称とはたらき	3
仕 様	3
お手入れのしかた	4
石灰分の除去	4
使用手順	5～6
アフターサービス	裏表紙

# 安全上の注意

- 1.ご使用の前に、必ずこの「安全上の注意」を最後までお読みください。
- 2.ここに示した注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、あなたや他の人々への損害を未然に防止するものです。
- 3.注意事項は、誤った取り扱いで生じることが想定される内容を、その危害や損害および切迫の度合いにより、「警告」と「注意」の2つに分け、明示しています。

 **警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

- 4.各注意事項には、「注意」「禁止」「強制または指示」を促す絵表示が付いています。



：発火注意



：感電注意



：高温注意



：禁止行為



：分解禁止



：強制／指示



：プラグをコンセントから抜く

## 電源について



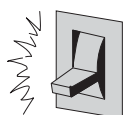
**警告**

・電源は、「15A 125V」と記されている家庭用の壁面のコンセントから直接とってください。



**注意**

・電源は、家庭用交流100V／50/60Hzをご使用ください。  
・使用中にブレーカー（分電盤内の配線遮断器）が落ちる場合は、お近くの電力会社にご相談ください。

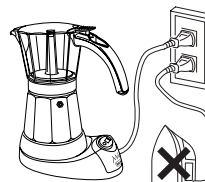


## コンセントについて



**警告**

・コンセントは、本製品だけ（単独）で使用してください。なお、差し込み口が二つあるコンセントの場合は、片方の差し込み口を空のままでご使用ください。  
・延長コードやタップ、ソケットなどは、使用しないでください。タコ足配線も、絶対にお止めください。



**注意**

・差し込み口のゆるいコンセントは、使用しないでください。お近くの電気店に修理をご依頼ください。



## プラグについて



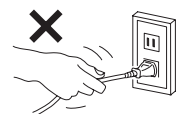
**警告**

・濡れた手で、プラグの抜き差しをしないでください。



**注意**

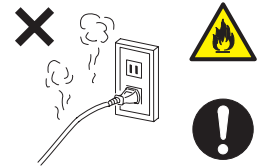
・プラグを抜くときは、電源コードを持たず、必ずプラグ部分を持って抜いてください。  
・プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。



## 電源コードについて

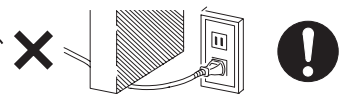
### 警告

- 電源コードまたはプラグが破損した場合は、直ちに使用を中止して、お求めの販売店または弊社サービスセンター（裏表紙参照）に、電源コードまたはプラグの交換を依頼してください。
- 使用中に電源コードまたはプラグが異常に熱くなる場合は、直ちに使用を中止して、お求めの販売店または弊社サービスセンターにご相談ください。



### 注意

- 電源コードまたはプラグは、無理に曲げたり、物をのせたり、傷を付けたりしないように、大切に扱ってください。



## 使用上の注意

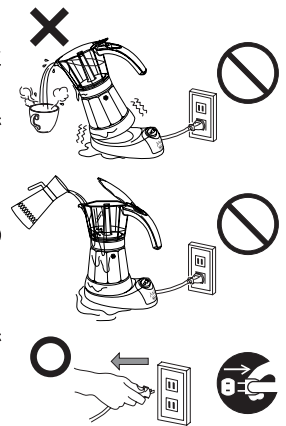
### 警告

- 直火（ガス台など）や電気ヒーター、電磁調理プレートなどの上では使用できません。
- 濡れた手でボイラー底部や電源ベースに触れないでください。
- ボイラーの最大使用水量は、0.27Lです。水を入れる場合は安全バルブを超えないよう注意してください。蒸気が噴き出し危険です。
- 使用中は、注ぎ口に顔や手を近づけたり、ふさがないようにください。
- 使用中は、近くに小さなお子様やペットがいる場合は注意を払ってください。また、お子様単独での使用はしないでください。
- 万一、異常が発生した場合は、直ちに電源を切り、プラグをコンセントから抜いてください。



### 注意

- ボイラーは、電源ベースの中央に正しくのせてください。
- コーヒーを注ぐ時は、ボイラーを電源ベースから完全に離れた状態で行なってください。
- 本製品は、コーヒーの抽出専用です。他の目的で使用しないでください。故障の原因になります。
- 家事専用ですので、屋外や他の用途で使用しないでください。
- 使用中は、ボイラーが熱くなります。やけどの原因になりますので、取っ手以外は触らないでください。
- 電源ベースに水やコーヒーをこぼさないでください。また、水がかかったり、湿気の多い場所や火の近くで使用しないでください。
- 使用後は、必ずプラグをコンセントから抜いてください。



## お手入れについて

### 警告

- お手入れをする前に、必ずプラグをコンセントから抜き、本体や各部が冷えてから、行ってください。

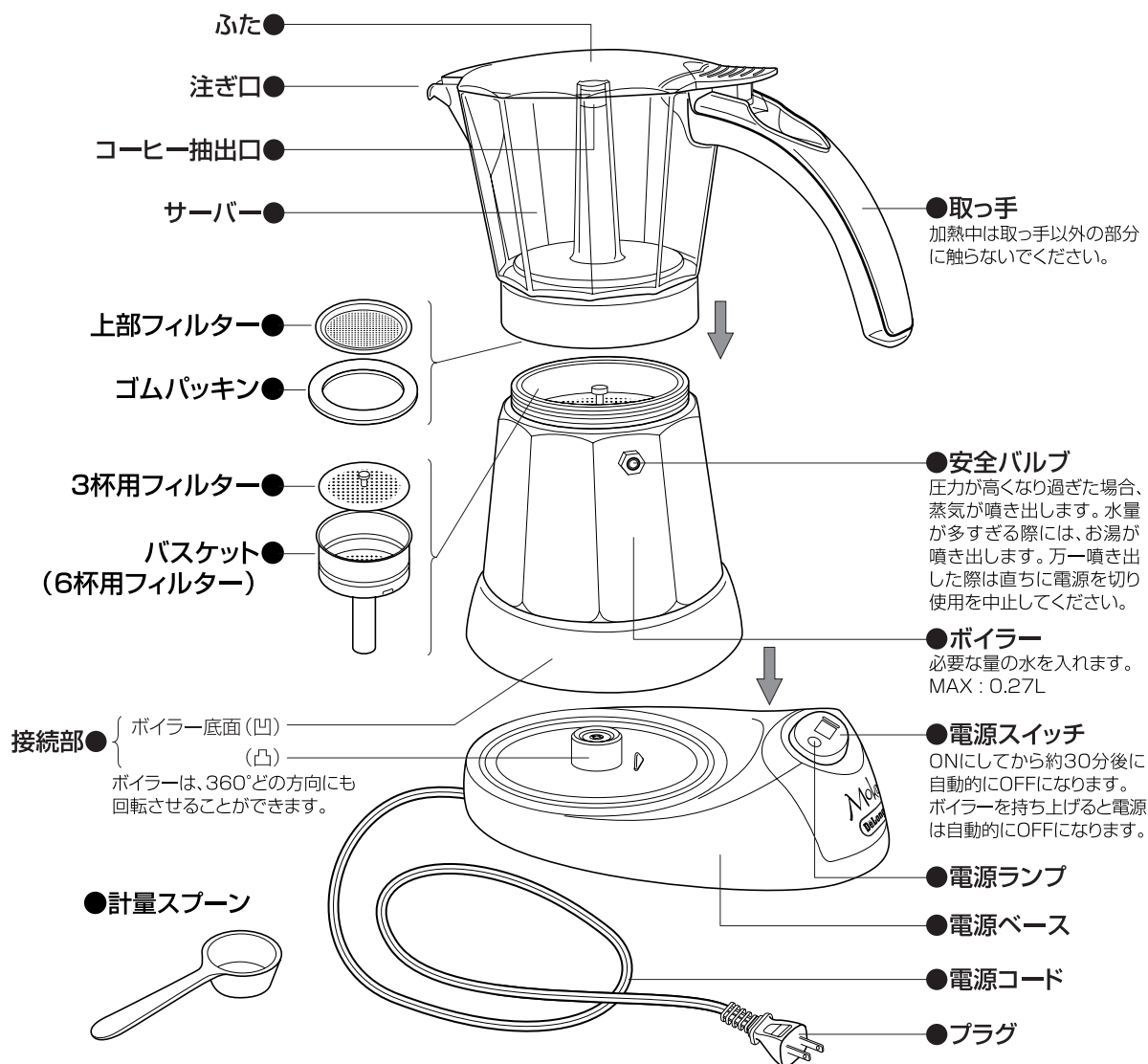


### 注意

- ボイラー底部や電源ベース、電源コード／プラグは、水に浸けたり、水洗いしないでください。
- シンナーやベンジン、クレンザー、金だわしなどは、使用しないでください。
- ご自分で分解したり、修理／改造をしないでください。



# 各部の名称とはたらき



## 仕様

製品名称／型式番号		デロンギ 電気式コードレス エスプレッソ・モカ マシン／Mod.EMK6
定格	電圧／周波数	100V／50/60Hz
	消費電力	450W
外形寸法／質量		幅185×奥行122×高さ235mm／1.0kg
ボイラー水容量		最大水量：0.27L
電源コードの長さ		1.8m
材質	上部	ポリアミド
	下部	アルミニウム、ポリアミド
付属品		バスケット、3杯用フィルター、上部フィルター、ゴムパッキン、計量スプーン

# お手入れのしかた

使用頻度や汚れ具合によりますが、下記の要領で定期的にお手入れをしてください。

## お手入れの 注 意 点

- ・必ずプラグをコンセントから抜いてください。
- ・使用後すぐのお手入れは止め、各部が冷えてから行ってください。
- ・クレンザー（研磨剤）やベンジン、シンナー、金だわしなどは使用しないでください。

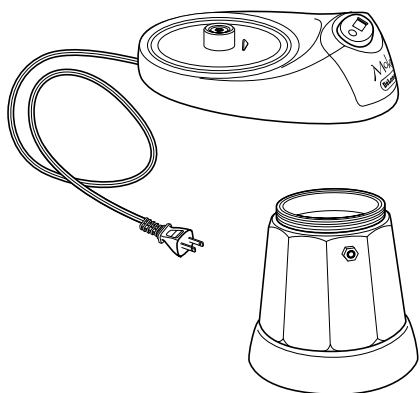
## 水洗いできません

### ボイラー、電源ベース

#### 汚れたとき

固く絞った濡れ布巾で拭きます。汚れがひどい場合は、少量の台所食器用洗剤をつけた布で拭き、次に濡れ布巾で洗剤をよく拭き取ります。

- ・プラグをコンセントから抜いてください。
- ・水に浸けたり、水洗いしないでください。
- ・ボイラーの内部はすすぎ洗いができます。（外側や底部に水がかからないようにしてください。）



## 水洗いできます

### サーバー、フィルター、ゴムパッキン、バスケット

#### その日の最終使用後

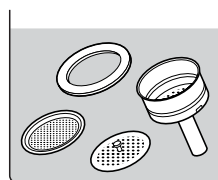
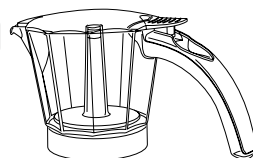
柔らかいスポンジで水洗いできます。定期的にコーヒー抽出口（内部）を洗浄してください。

フィルターやバスケットは、ぬるま湯に浸け、ブラシまたは楊枝などで穴の通りをよくします。

※洗剤は、なるべく使用しないでください。

コーヒーの脂肪分が金属表面に膜をつくり、金属臭を抑えます。

注意：漂白剤は絶対に使用しないでください。



#### ゴムパッキンの取り外し・取り付け方

##### 取り外し方

一部分をつまみ上げてから、内側に引きながら取り外してください。



##### 取り付け方

少しずつ指で押し込んでください。



※ゴムパッキンが破損した場合は直ちに交換してください。デロンギジャパンサービスセンター（裏表紙）にご連絡ください。

## 石灰分の除去

長く使ってくると、ボイラーの内壁に石灰分が付着して白い膜ができます。使用頻度や水質によりますが、3ヵ月～半年に1度、以下の要領で石灰分の除去を行ってください。

- ①ボイラーの最大水量に大さじ1杯の酢を入れます。
- ②ボイラーにバスケットとフィルター、サーバーを取り付け、電源ベースにセットします。電源を入れてボイラーを加熱します。
- ③ボイラーの水がすべてサーバーに上がった後電源をOFFにして、サーバーのお湯を排出します。
- ④今度は水だけで②③の操作を酢の臭いが消えるまで繰り返してください。

（注）ボイラー内部に水分が残った場合、黒く変色することがありますが、これは金属表面が酸化するためでご使用には問題ありません。



※酢は入れすぎないようにしてください。適量は大さじ1杯です。

# 使用手順

初めて本製品をご使用される際は、事前にボイラーやサーバー、付属品を水またはぬるま湯ですすいでください。

## ＜ご用意ください＞

### コーヒー粉は……



“エスプレッソマシン用”、“モカ用”と表記された細～極細挽きの粉が最適です。

※ドリップ用の粉は、挽き具合が粗いので、不向きです。

### 水は……



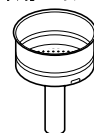
新鮮で澄んだ水道水や、軟水（日本の硬度:90mg/L以下）のミネラルウォーターが適しています。

※硬水を使用するとカルキ分が詰まり故障の原因になります。

### バスケット、フィルターは……

バスケット  
(6杯用フィルター)

3杯用  
フィルター



バスケット（6杯用フィルター）または3杯用フィルターを併用して使います。

## 1 ボイラーに水を入れる

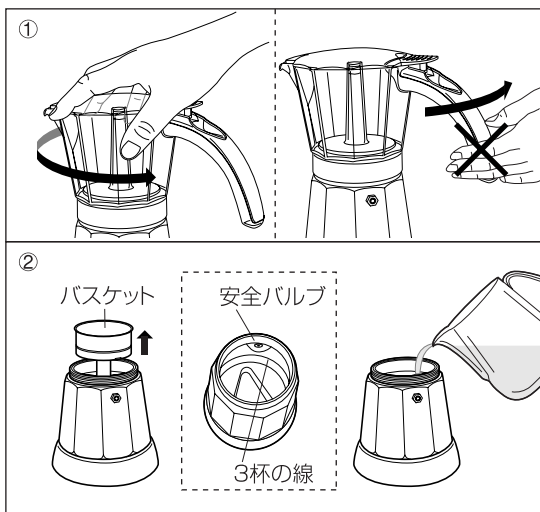
① 本製品が冷めていることを確認してから、サーバーを反時計回りに回してボイラーから外します。

※取り外す時は、取っ手を持って回さないでください。

② ボイラーからバスケットを取り出して、ボイラーに新鮮な水を入れてください。6杯の場合は安全バルブの少し下まで水を入れてください。（安全バルブを超えないように注意してください。）3杯の場合はボイラー内の線（下から約2cm）まで水を入れてください。

※このとき、必ず新鮮な軟水をご使用ください。硬水や塩水は使用しないでください。

※空だきは絶対にしないでください。また、抽出時間を早める目的で熱湯をボイラーに入れないでください。故障の原因となります。



## 2 適量のコーヒー粉を入れる

① サーバーに上部フィルターとゴムパッキン（異常がないもの）が取り付けであることを確認してください。

② バスケットに適量のコーヒー粉を入れてください。

3杯抽出の場合はバスケットに3杯用のフィルターを入れてから、コーヒー粉を入れてください。

③ 計量スプーンでコーヒー粉の山を軽くならしてください。

④ バスケットの端の余分な粉を払い落としてください。

⑤ バスケットをボイラーに入れてください。

⑥ サーバーをふたの上から掴んで時計回りに回してボイラーに取り付けてください。

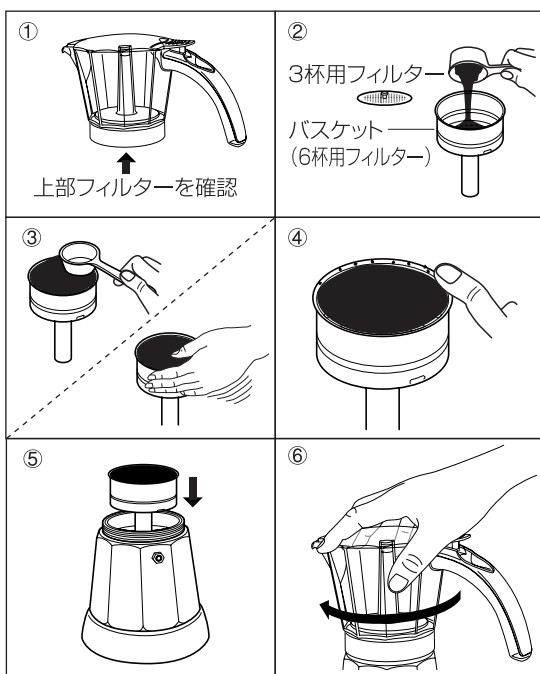
※取り付ける時は、取っ手を持って回さないでください。

※この際サーバーが回らなくなるまできちんと取り付けてください。締め方が足りないとサーバーとボイラーの間からコーヒー抽出中にお湯がもれる恐れがあります。

コーヒー粉の量の目安（付属計量スプーンすり切り）

6杯用フィルター：計量スプーン約5杯

3杯用フィルター：計量スプーン約2杯半



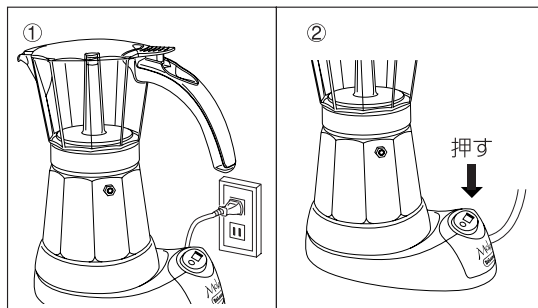
### 3 電源を入れる

- ① サーバーを取り付けたボイラーを電源ベースの上に置き、ふたを閉じてください。
- ② 電源スイッチを押すと、電源ランプが点灯してボイラーの加熱が始まります。



加熱中のボイラーはとても熱いので絶対に触れないように注意してください。

**高温注意**



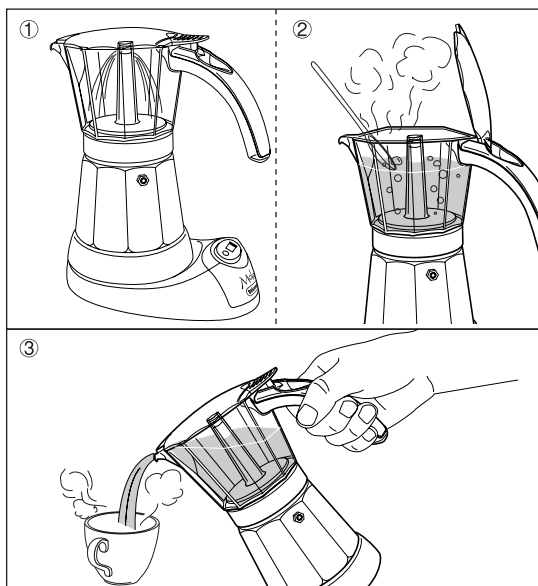
### 4 コーヒーを抽出する

- ① 数分でコーヒーの抽出が始まります。  
※抽出中はふたを開けないでください。コーヒーが噴き出し危険です。
- ② コーヒーの抽出が終わりましたら、かき混ぜてください。  
3杯抽出の場合は、抽出の後、約5分程度そのままに置いてください。コーヒーが理想的な飲みごろの温度になります。
- ③ コーヒーを注ぐときは必ず取っ手を持って注いでください。



抽出が終わったサーバーはとても熱いのでコーヒーを注ぐときはやけどに注意してください。

**高温注意**



### コーヒーの保温

コーヒーが抽出されてから約30分はONのままコーヒーを保温します。約30分たつと自動的にOFFになります。

※ボイラーを電源ベースから持ち上げると、電源は自動的にOFFになります。

再び電源ベースに置いて、電源スイッチを押すと約30分保温することができます。

### \* 使用後は…

使用後は、必ずプラグをコンセントから抜いてください。  
また、ボイラー内に残った水は捨ててください。



お手入れは各部が冷めてから行ってください。

**高温注意**

### モカ式コーヒーについて

モカ式コーヒーは粉の量や水の量を調整してお好みの味にすることができます。左に示したのが標準的な淹れ方ですが、これにこだわる必要はありません。例えば、薄目のコーヒーがお好みの場合、3杯分のコーヒー粉に対して、5～6杯分の水で淹れてください。

飲み方にも特別な決まりはありません。温めた牛乳を入れて「カフェ・ラテ」、氷を入れて「アイス・コーヒー」など、自分流のコーヒーの味を探し、お楽しみください。

# アフターサービス

- 1.使用中に異常（故障）が生じたときは、直ちに電源を切り、プラグをコンセントから抜いてください。その後、お求めの販売店または弊社サービスセンター（下記参照）にご相談ください。
- 2.万一、故障／損傷した場合は、保証書に記載されている販売店に **1.お求め時期 2.製品名称と型式番号 3.故障の状況**——を連絡のうえ、修理を依頼してください。また、宅配便などを利用して弊社サービスセンターに直送される際は、必ず故障の状況を記したメモを商品パッケージ（梱包箱）に同封してください。
- 3.保証期間中（1年）は、保証書に記載されているものについては、無償で修理いたします。ただし、安全上および使用上の注意を無視しての故障、規格外に改造をしたものは、その限りではありません。また、保証期間が過ぎたものについては、有償で修理いたします。
- 4.真心点検のお勧め：保証期間が過ぎて気になる点がございましたら、安全のために専門技術者による点検（持込み）をお勧めします。点検の依頼方法、料金等につきましては、弊社サービスセンター（下記）までお問い合わせください。



※下の枠内に、購入年月日を記入してください。点検の目安になります。

購入年月日：	年	月	日
--------	---	---	---

## 5.デロンギ再資源化システムについて

ご不用になった製品は、下記の要領に従い、弊社サービスセンター（下記）までお送りください。素材ごとに分別し、再資源化いたします。



**送料について**▶再資源化費用は弊社が負担しますが、送料はお客様のご負担（元払い）となります。予めご了承ください。

**梱包について**▶製品の入っていた箱（元箱）に入れてお送りください。元箱がない場合は、段ボール箱に入れるか、エアパッキンにくるんでください。

※外箱または送り状に「再資源化」と明記してください。

以上、アフターサービスについてご不明の点がございましたら、お求めの販売店または弊社サービスセンター（下記）までお問い合わせください。

## デロンギ・ジャパン サービスセンター（受付時間▶土、日、祝日を除く毎日 9:30～18:00まで）

●横浜：〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-9 安田倉庫(株)内4号ビル  
 修理について Tel. 0120-804-280/Fax. 045-450-3291  
 お問い合わせ・  
 ご相談について Tel. 0120-064-300/Fax. 045-450-3291

●大阪：〒564-0044 大阪府吹田市南金田2-21-25  
 修理について Tel. 0120-692-885/Fax. 06-6368-2881  
 お問い合わせ・  
 ご相談について Tel. 0120-692-880/Fax. 06-6368-2881



## デロンギ・ジャパン株式会社

本 社：〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1-5-6 第3大東ビル Tel. 03-5256-6321 (代)  
 大阪支店：〒541-0051 大阪市中央区備後町3-3-15 ニュー備後町ビル Tel. 06-6263-6116 (代)



環境にやさしい「無塩素漂白」エコパルプ・ソイインクを使用しております。  
 また、廃液の少ない水なし印刷で印刷しています。